

はじめに



かつての長寿県沖縄を支えてきた要因には、伝統的食文化が大きな要素であると考えられています。しかし、社会環境の変化に伴い家族構成やライフスタイルが多様化し、食生活も大きく変わりました。

私たちの食生活は格段に便利で豊かになりました。しかし、その反面、食に対する感謝の気持ちは失われつつあり、食生活の乱れからくる生活習慣病の増加や食の安全に対する不安など様々な問題が生じています。

問題が生じています。

平成22年の国勢調査における沖縄県の平均寿命が公表され、女性は1975年の統計以来、初めて1位の座を明け渡し3位に、男性は30位とさらに順位を下げました。

嘉手納町におきましては、平成22年の女性の平均寿命は88.1年と県平均を上回り県内市町村で5位、男性の平均寿命は78.5年と県平均を下回り県内市町村で38位となっています。平均寿命の男女差が9.6年と大きくひらいており、嘉手納町では男性の健康問題が深刻な状況となっております。

そのような中、健康長寿について食育推進の必要性を鑑み、前計画（「健康かでな2010」平成18年3月策定）を引継ぎながら、健康づくりに加え食育についての施策を総合的かつ計画的に推進するための具体的行動計画として「健康・食育かでな21」を策定いたしました。

「健康・食育かでな21」では住民一人ひとりが主体的に健康づくり・食育推進に取り組むと共に、地域、行政等が個人の健康づくりを支援する環境づくりを行うことで、健やかでいきいきと生活できる健康・長寿社会の実現を目指していきます。

最後に本計画策定にあたり、ご協力、ご意見を頂きました嘉手納町健康づくり推進協議会委員の皆様、アンケート調査等でご協力頂きました町民の皆様に、深く感謝申し上げます。

平成26年3月

嘉手納町長 当山 宏